

山梨県民信用組合

富士五湖清掃活動を実施

ACTIVE KUMIAI

平成20年7月19日(土)
山梨県民信用組合(坂井
俊次理事長)は、「富士五
湖一斉清掃」ボランティア
活動を同信用組合役員
約300名で実施した。

この事業は、山梨県民信用組合が顧客の山梨県民に広く公表している「新生プラン」の地域貢献活動事業の一環として二年後の世界文化遺産登録を目指す「富士山及びその周辺地区」の美化運動を行うため、「新生けんみん信組」としてのイメージアップのボランティア活動にともなう汗を流そう」という趣旨で役員へ呼びかけ実施したものの。

開会式では、先ず、坂井新理事長があいさつで、暑いので体に充分気をつけて頑張りましょう。」と職員の労をねぎらい次に若林担当理事があいさつ、続いて事業担当より清掃活動の説明を行い、役員は、用意したバスに分乗し山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖の富士五湖の7箇所に分かれ清掃活動を行った。

当日は、好天にも恵まれ、また、三連休の初日とあって富士五湖を訪れている多くの観光客に囲まれながら参加者は、汗を流していた。中には、子供連れで参加していた職員もいた。今回の試みについて理事長は、「山梨・静岡両県は富士山及びその周辺地域の世界遺産登録に向けての取り組みを推進しており、多くの県民や団体がそれぞれの立場から様々な活動を展開しています。今回のこのボランティア活動を通じて、僅かではあっても世界遺産の登録実現に資するとともに、「新生けんみん信組」としてこれからも地元

清掃活動風景

労をねぎらう坂井理事長

に根ざした存在でありたい、地元で事業を継続させていただきたいという私たちの思いを広くアピールできればと考えています。」と話していた。

